

2019 年度 国際漁業学会大会個別報告プログラム

時間	第1会場（楽水会館 1F 大会議室）		第2会場（楽水会館 2F 小会議室）	
	座長	報告課題・報告者	座長	報告課題・報告者
9:30 9:55	（東京海洋大学） 松井隆宏	1-1. 持続可能な水産物の消費選好の経年変化分析 京都大学 法理樹里 水産研究・教育機構 ○若松宏樹・宮田勉・大関芳沖	（大東文化大学） 山下東子	2-1. タンザニア本土における制度変更とザンジバルのダガー産業への影響 京都大学 藤本麻里子
9:55 10:20		1-2. 漁業就業に関する就職及び転職希望者の意識分析 水産研究・教育機構 宮田勉		2-2. 自然災害時における沿岸水産資源の役割と資源管理への住民参加の動機 - パヌアツの事例 - アイ・シー・ネット株式会社 寺島裕晃
10:20 10:30	休 憩			
10:30 10:55	（水産機構） 若松宏樹	1-3. 「プール制の採否と社会的選好ーアサリ漁業を事例にー」 東京海洋大学 松井隆宏 元三重大学 嶋村美香 神戸大学 後藤潤	（近畿大学） 多田稔	2-3. 南オーストラリア州のカキ養殖業における生産と流通 水産研究・教育機構 神山龍太郎・○宮田勉
10:55 11:20		1-4. 「漁業経営の展開と『漁業共同企業体』ビジネスモデルの特質ー北海道オホーツク沿岸のホタテ漁業を事例としてー」 東京海洋大学学術研究院 婁小波 東京海洋大学大学院 ○及川光 元東京海洋大学大学院 段婉聡 東京農業大学 今井麻子		2-4. 東南アジアにおけるサーモン市場の拡大とその特徴 大東文化大学 山下東子 タイ水産局 Wantana Chenkitkosol インドネシア海洋水産社会科学研究センター Achmad Zamron フィリピン大学 Evelyn Belleza ヤンマー株式会社 伊澤あらた
11:20 11:45		1-5. 地域ブランドの形成と魚食文化の役割～「佐久鯉」を事例として～ 東京海洋大学大学院 余丹陽 東京海洋大学学術研究院 婁小波・川辺みどり		2-5. 日本人による水産協力に関する一考察 OAFIC 綿貫尚彦
11:45 13:00	昼 食			

13:00 13:25	(東京海洋大学) 妻小波	1-6. 三重県志摩市和具地区における伊勢海老の漁業管理：制度的フィット (Institutional Fit)の観点から 東京大学 石原広恵	(東京大学) 阪井裕太郎	2-6. (仮)貿易理論で扱う再生可能資源としての水産物貿易 専修大学 小川健
13:25 13:50		1-7. 海洋観光政策の展開と『なぎさ泊』の意義 漁港漁場漁村総合研究所 浪川珠乃・後藤卓治		2-7. 陸海域環境統合モデルによる環境投資配分の推定：最適な統合的沿岸域管理のためのシミュレーション分析 国際協力機構 結城知佳 東京大学 ○佐藤昶・鈴木宣弘
13:50 14:15		1-8. 水産物の国際貿易と日本の輸出振興政策の展開 三重大学 原田幸子	(専修大学) 小川健	2-8. Running to Stand Still: Common Property and Inertia in the Spatial Commons The University of Tokyo Yutaro Sakai
14:15 14:30	休 憩			
14:30 15:45	総会			

※報告時間は17分、質疑応答は8分とし